

(2) 造園緑花道路の創設

(2) - 1 道路緑化の構造の変遷

街路樹等の道路緑化の構造変遷について、交通手段の変遷の立場から見ると、以下の五段階に分類することができる。

第一段階：交通手段として自動車を使用される以前の街路樹で、点的なパターン。

第二段階：自動車交通量の増加に伴い、人と車との分離が必要になり、低木の列植によって対応した。

第三段階：各種の道路公害の緩衝的役割、発生源の遮断および視覚的な面から目の高さを超える中木を植栽したパターン。

第四段階：沿道環境緑地帯の概念を含み、道路の環境インパクトに対する緩衝効果を重視したパターン。高速道路の建設に伴って必然的に生まれたもの。

第五段階：主な目的を自動車走行に伴う沿道空間への環境インパクトの緩衝効果としたパターン。沿道空間と調和のとれた緑地帯、または沿道規制された緑地として道路敷の一部を構成するようになったもの。

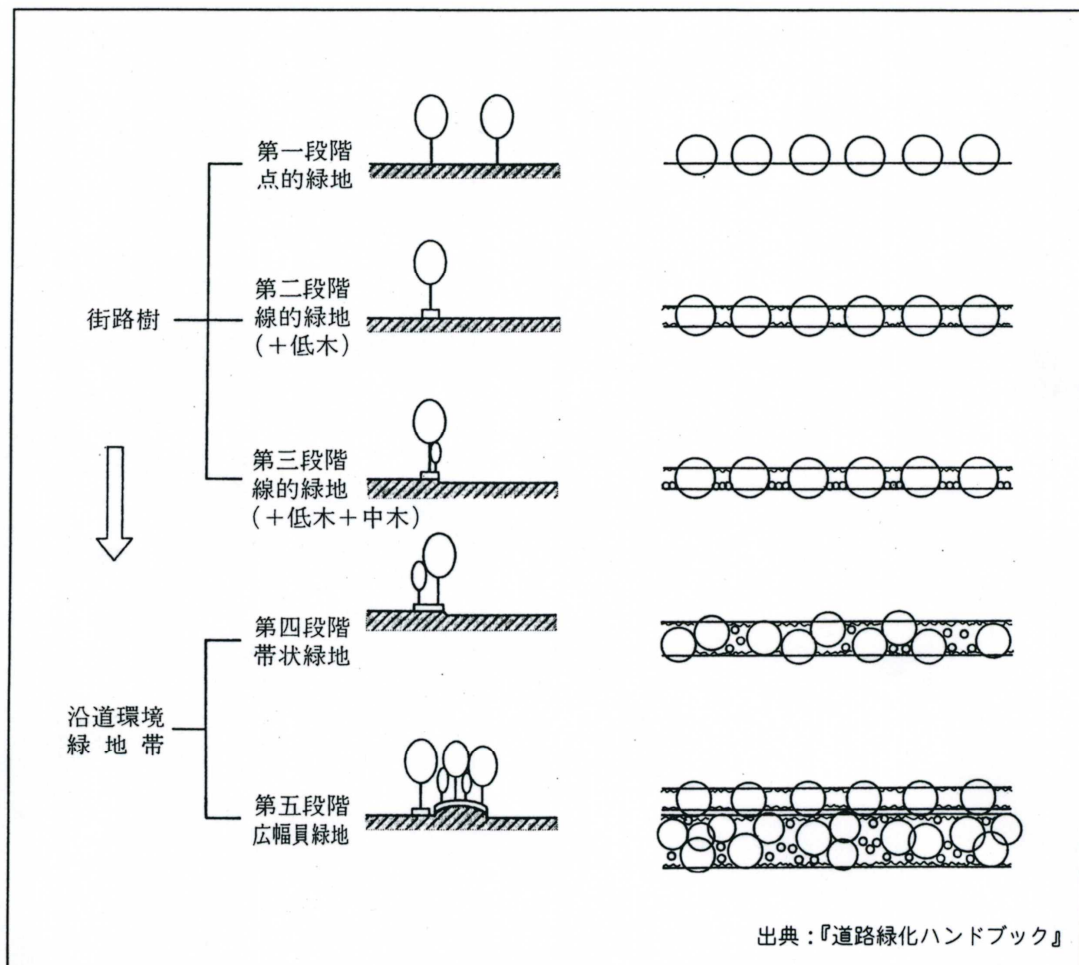


図 街路樹等の構成変遷の概念図